

酒々井町

郷土研究会会報

第96号

平成12年4月1日
酒々井町郷土研究会
広報部

本佐倉城跡周辺の

散策(六)

高橋 健一

8 八幡神社と将門山大明神

本佐倉城跡は勝胤寺の南方にあり
ますが、その一画は将門山といわれ
ています。この将門山に八幡神社・
将門山大明神などがあります。
次にあげる文書は、大佐倉の宝珠
院に残る千葉胤富(本佐倉城主)の
判物です。

- 一 八幡御神殿同拝殿
 - 一 大明神御神殿
 - 一 浅間之拝殿
- 右此三ヶ所修理造立ニ付而

式貫五百文相渡シ候并
材木萱蘆之事以檢使
入目之透健ニ可渡進候
然則寒氣以前速成就候様ニ
其稼専一候仍而旨趣如件
永禄十一年戊申
菊月七日胤富(花押)
宝珠院江

胤富は永禄十一年(一五六八)菊
月(九月)七日に宝珠院に對して、
式貫五百文(錢二千五百枚)をもつ
て八幡神殿・拜殿(八幡神社)、大
明神(将門山大明神)、浅間拜
殿(浅間神社)を修理するようにな
命じたのでした。

この文書は、八幡神社・将門山大
明神・浅間神社が戦国期にはすでに
あったことを伝えており、これら三
社の建立時期は不明ながら千葉氏が

外護していたことがうかがえます。
なお、京都の例ですが永禄十年に米
一石が千六百六十七文であったと記
録されています。

八幡神社は荒上曲輪に隣接した場
所に建立されています。

『古今佐倉真佐子』には、八幡神
社について「此宮(口ノ宮明神)の
前を東の方へ三丁斗行て左の方、中
松のなみき有て道ある。是へ入て二
丁斗先に木の鳥井ある。雨じやれて
白し。鳥井内一丁斗おくに四尺四方
斗のほこらあり。全体坂。此山の鎮
守にて八幡也。宮の右方に八かいの
大松有。神木也」と見え、将門山大
明神について「此先に左の方に木の
鳥井あり。雨しやられて白木也。鳥
井内はいでん。此内宮有。くずやに
て惣板ばめにして前戸ひらく事なし。
扱、はいでん二間に五間斗也。左右
板じき真中土一間斗也。こし板より
はしらへ落書一めん也。宿なしのぬ
す人、佐倉にてきらくと云、此者の
住家と成るゆへ右の通り也。人行と
いつかたへか隠れ一人もをらず。平
親王の社也」と見えます。

『江ノ島方面初詣で』

に参加して

伊東 稔

西暦二千年、節目の平成十二年一月二十三日よい想い出にと友を誘い四名で参加させて戴きました。

先ず鎌倉駅。家の軒と軒を通る江ノ電に初めて乗車、江ノ島駅で降り龍口寺にお参りしました。本堂で合掌、一二七一年(文永八年)に日蓮上人が斬首されようとした時すえられた敷皮石が左手に安置されてありました。子が丑の刻、数々の奇跡が起り危うく難を逃れたことを聞き感無量、合掌する。仁王門まで戻り左側の刑場跡を見学する。今は石垣に囲まれており会長さんの詳しい説明を聞きながら上人が一夜を過ごしたという御霊窟土牢に参り合掌。中山法華経寺から移した鐘楼、鎌倉唯一の五重の塔などを見学し龍口寺を後にしました。

江ノ島大橋を渡り青銅造りの鳥居をくぐり辺津宮の大鳥居まで左右の店を眺めながら動く階段のエスカレーターを利用しました。江ノ島神社を参拝

しました。乗り継いで史跡を散策し植物園に入りました。

生憎の空模様で寒さも加わってきたので集合場所に向かう事にしました。

展望台から見ると寒空のもと眼下に走るヨット群、相模湾から箱根方面、霞む伊豆など展望は最高で江ノ島が絵ノ島と言われたと聞いてなるほどと思うとともに後日暖かい晴れた日にまた来たいと思いました。源頼朝寄進の鳥居、八方眺みの亀絵、猿田彦大神宮の碑などを見学し見玉神社を参拝の後解散しました。皆さん元気で私も友と語りながらの楽しい一日でした。

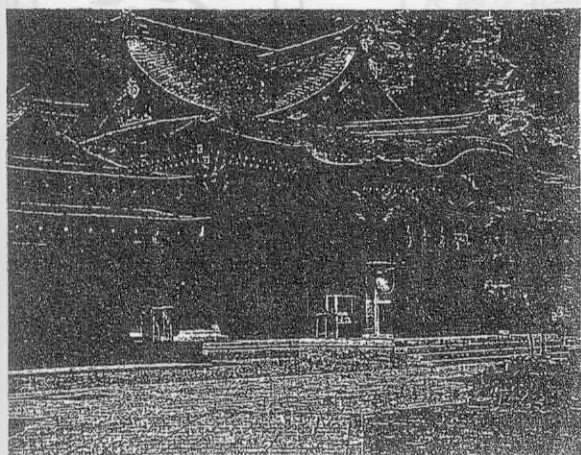
『七草粥を食べる会』

に参加して

黒沢 栄子

かねてより関心のあった郷土研究会に縁あつて入会させて頂きました。早速七草粥を食べる会に参加いたしました。二月十八日(金)調理のお手伝いという事で多少緊張の面持ちで調理室に向きました。あたたかい笑顔に迎えられ不安な気持ちはずぐに一掃されました。外の肌寒さにくらべれば調理室の中は熱気にあふれベテラン主婦の皆さんの見事なチームプレーで次々と料理が出来上がっていきます。会場となる講堂のテーブルセッティングも整い総勢七〇余名での盛大な会食が始まりました。来賓の方々のスピーチも一興で笑いの輪が広がり終始和やかなムードに包まれておりました。

承ったところによりますと七草粥の歴史は古く平安時代の枕草子にも記述があるそうですから清少納言や紫式部、はたまたきらびやかな平安貴族も口にしたのでしうか、そんな千年もの遠い昔に思いを馳せなが



辺津宮

ら青菜の色濃い春の香りを味わい満ち足りた気分になりました。七種の草は時代により異なり鎌倉時代に「せり・なずな・ごぎょう・はこべ・ほとけのざ・すずな・すずしろ」になったようです。現在では何でも七種あればよしという事になりました。よう。観梅日和が雨になった日曜日七草ならぬ京菜の一草粥を夫との昼の膳にのせました。飽食の時代だからこそ胃にやさしい七草粥の風習を伝えてゆきたいものです。

「小豆粥」について

「七草粥を食べる会」で「小豆粥」のことが話題になりましたが、正月十五日に小豆粥を作る風習は平安時代からあったそうです。紀貫之の「土佐日記」にも小豆粥のことが出ています。邪気を除くとして食べますが小豆のたき上がり方でその年の豊凶を占う目的もありました。このような昔の風習は大切にしたいですね。

植物の話 (8)

レンギョウ
連翹 (もくせい科)

とスギナ

亀井 香久乃

早春から目につく花で、連翹があります。これは、徳川綱吉の初期に中国から入り、日本では観賞花として庭木に植栽されました。現在見かけるのは次の四種類です。どこにもあるのは、「連翹」葉は長卵形で枝は中空。「朝鮮連翹」葉の下部が広く枝は横板の髄があり、花は濃黄色。「支那連翹」葉の上部が広く横板の髄有り。「大和連翹」葉は卵形で裏に毛があり髄は前の二種より薄板状です。

連翹は出葉前に花が咲きますが、他の三種は花と葉は殆ど同時です。漢字の翹の意味は、小羽が多く並ぶという意味で、小枝にびっしり咲く花の様子から当てられた名前です。花言葉は希望です。嬉しい言葉ですね。

次にスギナ(とくさ科)ですが、これは一億数千万年前、恐竜全盛時

代に栄えたシダ類の一つで、多くは絶えてしまった中で生き残った数少ない最古の植物といわれていますが、庭に生えたら除去しにくいですが、美しい花をつけず胞子のみで種属を守り、土中にしぶとく根を残す習性が、絶滅を防いでいるのでしよう。温もりの土手に春風をうけて立つ土筆を摘みに出かけましょう。



会計報告

七草粥を食べる会	H12.2.18.
収入	
会費	700円
参加人員	70名
	700×70=49,000円
雑収入	13,337円
計	62,337円
支出	
材料費	55,416円
諸雑費	4,672円
計	60,088円
残金	2,249円

郷土研究会と

大室台小学校

去る二月八日、大室台小学校からの依頼で三年生の社会科学習「昔のくらし」の一端として「わら草履作り体験学習」が開かれ指導にあたりました。

顧みますと大室台小学校との関わりは、平成九年一月十三日に、二年生の三十一名に「七草粥」について指導して欲しいとの申し入れがあり、では作って味わってもらおうのが先と調理し味わってもらったのが始まりです。その後二月二十二日には先生方の公開研究会で、児童自身が七草粥を作って実習発表をしアドバイザになり大変好評をいただきました。また、当日三年生に会田顧問が「ランブ」について講義をしました。

平成十年一月十四日、三年生に「わら草履作り体験学習」の初めての指導をしました。二度三度と勉強会を経ての取り組みでした。二月十日には会田顧問が四年生に「ランブの扱い方」の体験学習で指

導にあたり、間の中にもった明かりにとよめきがありました。また十月十三日には青木会長が「印旛沼の今昔」について講義し、児童たちは熱心に耳を傾けていました。

平成十一年二月二日には十年度の三年生に「わら草履作り」の指導歴二回目の実習指導となりました。成果を評価されたのでしようか平成十二年に入り、一月中旬今年の三年生にも指導してほしいと依頼があり三回目の指導となりました。

二月八日当日わら打ちの後十時から三年生二クラス四十一名の子供たちは一心不乱に作業に取り組みました。出来上がったわら草履を手にして四十一名の子供は学校荒廃とは無縁の世界でした。酒々井の昔の人々の生活が少しでも子供たちに伝わればいいですね。

わら草履作り偶感

会長 青木朝次

初めて目にする藁草履を自分の手で作る喜びに嬉々として目を輝かせて製作に熱中し、苦心の末に完成し

た手製の草履を片方だけ履いて駆け回り喜ぶ子供の姿に感動しました。子供たちから届いた手紙に感動は一層広がりが郷土研はこのつながりを大切にしていきたいものです。

また、その都度わらの提供をいただき草履の編み方を指導してくださった高崎重雄さん、朝増直さんと桜井徳三さんに厚く感謝と御礼を申し上げます。ご協力ありがとうございました。

古文書学習会

が始まりました

過去の時代の史料となる古い文書・記録を古文書といいますが、二月十五日に第一回古文書学習会がありました。今回は準備の都合で深山家をテキストに、青木会長のリードで行われましたが、その当時の酒々井の様子、社会のしくみなどが少しづつ見えて来るようになってきました。

「古文書」に親しんでいけば歴史の扉を少しずつ開けられるのではないのでしょうか。皆様の参加をお待ちしています。

酒々井町郷土研究会平成12年度役員・運営委員名簿

役名	氏名	住所	電話
顧問	沖田善三郎		
"	田村直子		
"	会田秀雄		
会長	青木朝次		
副会長	上田悦子		
会計	福田照子		
"	福田芳江		
監事	福田豊吉		
"	助玉子		
運営委員	鶴岡知子		
"	上野和子		
"	寺本恵美		
"	高木正浩		
"	有田政勝		
"	丸山正義		
"	斉藤日出子		
"	行武政市		
"	執行正勝		
"	佐藤照子		
"	矢野三雄		
"	浜口信義		
"	林芳子		
"	犬島正子		
"	久我かず子		
"	古川国雄		
"	富沢勝		
"	木村雍子		
"	相京豊		
"	高橋喜重		
"	桜井徳三		

第二十四回定期総会報告
 一月三十日(日)午後一時三十分から中央公民館講堂において第二十四回定期総会が開催されました。平成十一年度事業報告・決算報告が承認され平成十二年度事業計画及び予算案が可決され、新役員五人が紹介されて総会は終了しました。

その後ひきつづき昨年の町制施行記念給馬展のビデオが放映されました。会田顧問と青木会長の解説を聞きながら、酒々井町内の寺院の絵馬三百余りについて一堂に目にする事ができ、改めて給馬の世界に引きずり込まれそうでした。



平成12年度事業計画 酒々井町郷土研究会

No.	行事名	回	開催月													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1	定期総会	1	○													
2	会報発行	4	○		○			○				○				
3	講座・史談会	郷土史講座	1									○				
		史談会	7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学習会	町内史跡めぐり	1				○									
		古文書学習	10		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	研修見学会	御成街道探訪	1			○										
		一泊コース	1				○									
		日帰りコース	3			○				○				○		
5	野草の会	名勝探訪	4	○				○			○			○		
		野草観察会	2				○						○			
6	役員会・運営委員会	七草粥を食べる会	1		○											
		役員会・運営委員会	5	○	○		○				○			○		

郷土研日誌

月日	内容	参加人員
1/8	監査	5人
/14	総会準備	17
/14	名称探訪資料作り	2
/23	江ノ島方面初詣で	30
/30	定期総会	95
2/12	史談会	22
/15	古文書の会	18
/17	七草粥の会準備	8
/18	七草粥の会	70
/23	研修部会	15
/25	編集会議	5
3/3	運営委員会	20
/3	編集会議	7
/11	史談会	19
/18	編集会議	6
/21	古文書の会	19

見学

案内

御成街道

探訪 (最終回)



町内史跡巡り

(教育委員会後援)

五月十四日(日)

雨天代替五月二十日(土)

四月三日(月)
雨天代替四月十日(月)

平成十年二月、安藤一郎先生の御成街道の講義を受けてより御成街道を實際に歩こうとの声が上がったのがこの事業の始まりです。六月十五日起点船橋を出発してから、七月、十月、平成十一年二月、六月、七月、十一月、延々と伸びる一直線?の街道を炎天下、風すさぶ日、暑い日、寒い日、いくつもの坂道を上り下りし、旧蹟を訪ねつゝ、一人の落伍者もなく皆元気に歩いてきました。そしてとうとう終着地点を眼下に見下ろす日吉神社まで到着いたしました。(前回まで)

一年の内で最も緑がきれいな時期ですがその中を皆で楽しく散策を楽しみましょう。

今回は、ルート51号と東関道の間、に位置する上岩橋の大崎・上郷・打越、伊篠、伊篠新田の八木野などを巡ります。先ず大崎の馬頭観音をみて伊篠方面に向かいます。

伊篠は酒々井の北端にあり、その台地は全域が埋蔵文化財の大規模な包含地で、山・谷があり古代人の食糧であった鳥獸や魚介類、果実が豊富で住みよい場所だったようです。中世は千葉氏の一族の栗飯原氏の所領となっていました。千葉氏の滅亡とともに伊篠の城がどこにあったかなどは不明です。

旧成田街道の松並木は昭和四十二年頃はすばらしい景観でしたが現在は松喰虫被害で全滅して昔の面影はありません。江戸時代は木々がうつそうとしてさみしい道でした。あの

黄門様の水戸光圀の旅日記に伊篠が出てきます。白幡神社、松島神社をみて上岩橋へ向かいます。

石橋(岩橋)という地名は平安時代後期の文書「下総国印東莊郷司・村司等交名」という文書にててきます。

「千葉大系図」に千葉(岩橋)輔胤の名があり下岩橋字城山に居城を保持していたと思われれます。岩橋が上・下二つに分かれ更に下岩橋から柏木が分離しました。

一〇六四(慶長九年)の検地帳には上岩橋の地名が用いられています。上岩橋は上郷・大崎・トケ崎・大鷲の四地区に分かれています。

上岩橋の獅子舞は、江戸時代中期から村の行事として伝承されて、大正時代中頃一時中断しましたが昭和十年復活され、村の行事として青年達によつて演舞が継続されています。

五穀豊穰を祈願するこの行事は毎年四月三日に駒形神社・荻賀神社・大鷲神社の三社と区長の家で演舞されます。その駒形神社や荻賀神社と長福寺・妙楽寺へ行きます。その後JR酒々井駅に向かい解散となります。

泊見学会

五月二十三日(火)

二十四日(水)

一 関・鳴子方面

宿泊先 ますや(五〇三九九(八)二二二)

新緑若葉に映え風かおる五月、岩手・福島県に古刹と華やかに咲き競う牡丹をたずねて、夜はこけしの里でくつろぎましょう。明けて学問の里を見学、鬼婆伝説の安達が原から智恵子ロマンに心ゆすられ帰路につきます。山々の緑は旅する私たちに楽しい旅であるようささやいてくれるでしょう。

★祥雲寺田村記念館(岩手・一関市)

臨済宗の寺で岩沼の田村氏菩提寺大慈寺を一関に移し大慈山祥雲寺としたもので八角転輪経堂・田村記念館があります。

★願成寺(岩手・一関市)

曹洞宗の寺で平安後期の木造薬師如来像(県文化財)があり住職の説明がわかります。

★花と泉の公園(岩手・花泉町)

東北地方で一番大きな牡丹園で二百種類五千株が咲き乱れます。

★旧有備館(宮城・岩出山町)

日本最古の学問所で三百年を経ている。岩出山伊達家三代敏親が建て家臣の子弟教育をした。

★黒塚(福島・二本松市)

安達が原ふるさと村にあり鬼婆伝説で有名。

★智恵子生家記念館

智恵子の生家で造り酒屋として明治初期に建てられた。

名勝探訪

六月二日(金)

雨天代替六月六日(火)

等々力溪谷方面

さわやかな時期、電車を乗り継ぎ乗り継ぎ、楽しく出かけましょう。緑豊かな等々力溪谷では遊歩道を歩きながら川のせせらぎ、切り立った兩岸に生い茂る樹木がつくる溪谷美をみながら不動尊へいきます。

浄真寺では三つのお堂の中に阿弥陀様が三体づつ納められてありこれが九品仏の由来です。九体の仏像が備わっている所はここと京都府の浄瑠璃寺だけだそうです。ここち良い気分となったところで遅くならない

うちに家路につきましましょう。

夷隅方面野草観察会

四月二十五日(火)

今回は酒々井を離れて夷隅方面への観察会です。ネイチャーセンターを中心に里山、山、池など身近に接することができ自然にふれて野草を見つけて下さい。亀井さんに教えていただきたい植物の採集は『いすみ環境と文化のさとセンター』の許可を受けてから行いたいと思います。野鳥も多い所です。いすみの自然を大いにお楽しみ下さい。

あとがき

暑さ寒さも彼岸までといいますが今年の冬は本当に寒い日が多かったですね。毛利さんがスペースシャトルから見た地球、とくに日本は素晴らしかったです。いつまでも大切にしていきたいです。さて桜の花開くよい季節になりました。御成街道探訪も最終回になり東金御殿跡に到着です。他の行事も盛り沢山です。皆様のご参加を心からお待ちしております。

郷土研行事案内

平成12年4月~6月

<p>史談会</p>	<p>4月 休講</p>	<p>5月 6日(土) 13:30 会議室 「千学集と妙見実録千集記」⑧ 講師：高橋健一先生</p>	<p>6月 3日(土) 13:30 会議室 「千学集と妙見実録千集記」⑨ 講師：高橋健一先生</p>
<p>古文書を 読む会</p>	<p>4月 18日(火) 13:30 社会福祉協議会 「深山家文書」</p>	<p>5月 16日(火) 13:30 社会福祉協議会 「深山家文書」</p>	<p>6月 20日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>
<p>御成街道 探訪 (最終回)</p>	<p>4月3日(月) 東金方面 JR酒々井駅9時5分集合 雨天代替4月10日(月) JR南酒々井駅乗車も可(10時0分) (弁当・飲み物・敷き物持参) JR酒々井 — 佐倉 — 南酒々井 — JR東金 — 八鶴湖 — 日吉神社 — 八鶴湖(昼食) — 本漸寺 — 県立東金高校 — 最福寺 — 東金駅 — 酒々井駅</p>		
<p>野草観察会</p>	<p>4月25日(火) 町バス利用(定員30名) 雨天決行 観察場所：夷隅方面(ネイチャーセンター付近) 費用1500円(弁当代含) 集合：酒々井町公民館 8:45 帰着予定 4:30 申込受付：4月14日(金) 9:30~10:30 (公民館ロビー) キャンセル 実施日5日前迄 青木宅</p>		
<p>町内史跡 巡り ハイキング</p>	<p>5月14日(日) 伊籾方面 雨天代替5月20日(土) 集合 JR酒々井駅前(中央台側) 9:00 (解散 3:00) 酒々井駅 — 大崎馬頭観音 — 伊籾松並木 — 白幡神社 — 伊籾コミュニティー — 松島神社 — 駒形神社 — 長福寺 — 菊賀神社 — 妙楽寺 — 酒々井駅 *弁当・飲み物持参 約10km歩きます(コース変更あり)</p>		
<p>一泊見学会</p>	<p>5月23日(火)~5月24日(水) 一関・古川方面 申込受付 4月14日(金) 9:30~10:30 (中央公民館ロビー) 定員 45名 (配車 5時40分) 会費 25500円 (宿泊先 ますや ☎0229-83-2212) 5/23酒々井(6:00) — 湾岸・幕張PA — 小菅 — 羽生PA — 那須高原SA — 白石(昼食) — 祥雲寺・田村記念館 — 願成寺 — 花と泉の公園(ぼたん園) — 鳴子温泉 5/24鳴子温泉 — 旧有備館 — 智恵子生家記念館 — 黒塚(安達ヶ原宝物館) — 二本松(昼食) — 二本松IC — 上高地SA — 川口 — 葛西JCT — 酒々井(19:00) キャンセル 実施日5日前迄 青木宅</p>		
<p>名勝探訪</p>	<p>6月2日(金) 等々力溪谷方面 雨天代替6月6日(火) 集合 京成酒々井駅 8:05 (行程に一部変更あり) 京成酒々井 — 日暮里 — 波谷 — 等々力駅 — 等々力溪谷 — 等々力不動 — 玉川野毛町公園 — 満願寺 — 浄真寺(九品仏) — 九品仏駅 — 波谷 — 日暮里 — 京成酒々井 *弁当・飲み物持参</p>		